

2022年6月2日

## 「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」の契約締結について

～SDGs の目標達成に向けた当社の事業活動を第三者が評価～

杉本製茶株式会社(社長 杉本 将明)は、株式会社静岡銀行(頭取 柴田 久)との間で、「ポジティブ・インパクト・ファイナンス(※)」の契約を締結しましたので、お知らせします。

※企業活動が環境・社会・経済のいずれかの側面において与えるインパクトを包括的に分析し、特定されたポジティブインパクトの向上とネガティブインパクトの低減に向けた取り組みを支援する融資。企業による SDGs 達成への貢献度合いを評価指標とし、その過程を情報開示する。

○当社は、創業 75 年を超える茶問屋であり、有機農家と連携して生産した良質な茶の海外輸出により、静岡の茶文化を世界に広めています。また、県内茶産業の維持に向けて適切な利益の分配、土壌・肥料の共同研究等、生産農家の支援にも積極的に取り組んでおり、環境面においても、実質 CO2 排出量ゼロ電力への切り替え等により環境負荷の低減に努めています。

○当社の取り組みは、国連環境計画金融イニシアティブが提唱した「ポジティブ・インパクト金融原則」およびポジティブインパクトファイナンスタスクフォースが提唱した「インパクトファイナンスの基本的考え方」に基づき、一般財団法人静岡経済研究所が(株)日本格付研究所の協力を得て評価しています。

○SDGs の目標達成に資するインパクトについて、以下の通り KPI を設定しています(詳細は「評価書」をご参照ください)。これらの取り組みの進捗・成果は、当社ホームページにて開示します。

特定されたインパクト	KPI(指標と目標)	関連する SDGs
<環境面>	① 電力使用に関する実質的なカーボンフリーを維持する ② 2027 年までに、生分解性素材使用製品点数を現状の7点から+10 点増加させ、17 点を達成する	   
<社会面>	① 2027 年までに、輸出国数を現状の 21 カ国から+4カ国増加させ、25 カ国を達成する ② FSSC22000 に基づいた安心安全なお茶の生産を継続し、製品不良率0%を維持する	 
<経済面>	① 2027 年までに、契約農家数を現状の 5 先から+5 先増加させ、10 先を達成する	  

○当社は本件の締結後も、同様の志を持つ同業他社様との連携・協力を通じ、更なる SDGs の達成に取り組んでまいります。

以上